



令和6年 南高梅の生育概況・推移

撮影地：和歌山県田辺市三栖



令和5年5月9日



令和6年5月9日



コメント（5月9日時点）

定点調査における5月9日時点の縦径は 32.1 mmで、前年比 95%、平年比 104%となっています。

4月10日実施の関係機関による着果状況調査では、前年・平年に比べて着果数は少ない結果となりました。

5月中旬に第2回目の調査を行う予定です。

令和5年4月10日



令和6年4月10日



コメント（4月10日時点）

現在、展葉と果実の肥大が進んでいます。4月10日時点の縦径は約 25 mmで、前年並・平年に比べて大きい状況です。今後、生育に伴い、第1次生理落果が起こります。

3月20日に降雹があり、果実への被害(傷果の発生)が見受けられました。

令和6年3月24日



令和6年3月19日



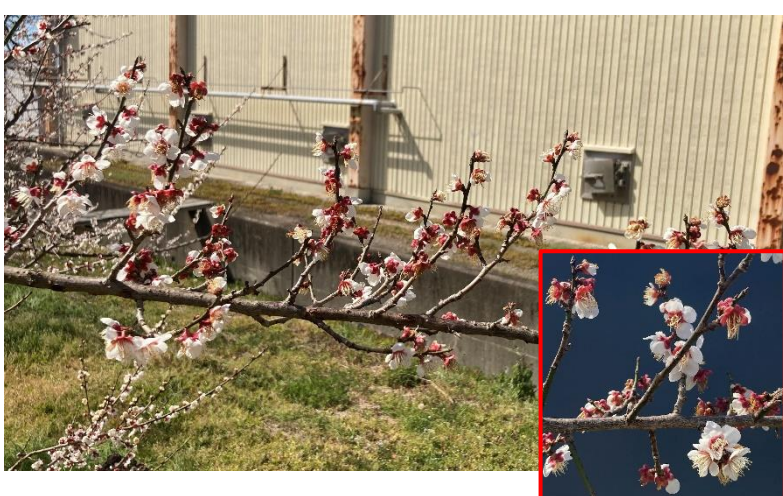
コメント（3月19日時点）

現在、ガクがおち、幼果が見え始めています。本年は開花が早かったものの、その後低温で推移したことで、開花期間は平年より長くなりました。

その後も低温で推移したことで、発芽・展葉が遅れています。

生産量を把握するため、4月中下旬に着果量調査を実施する予定です。

令和5年2月28日



令和6年3月1日



コメント（3月1日時点）

西牟婁地域の満開期（8分咲き）は1月30日で、気温が高く推移したため、昨年と比べると17日程度早くなりました。

写真でもわかるように、現在では小さな果実が見え始め、昨年の同時期と比べてかなり早い生育となっています。